

平成 2 9 年度機能評価係数 について

平成 29 年 4 月に改定した機能評価係数 の概況は以下の通り。なお、機能評価係数 の各係数分布状況については別紙参照。

- (1) 平成 28 年度改定で設定された機能評価係数 の評価総額を変更しない形(財政中立)で、平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月までのデータに基づき 8 つの係数を再設定した(平成 28 年度改定で設定された基礎係数及び暫定調整係数に変更はない)。
- (2) 平成 28 年度改定における中央社会保険医療協議会での合意に基づき、8 係数の重み付けについては等分とした。
- (3) 評価対象となるデータが診療報酬改定をまたいでいるため、地域医療指数以外の 7 指数については平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月のデータに基づいて算出した指数と平成 28 年 4 月～9 月のデータに基づいて算出した指数の相加平均を用いた。
なお、効率性指数、複雑性指数、カバー率指数の算出にあたっては、平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月の期間に 6 症例以上、平成 28 年 4 月～9 月の期間に 6 症例以上ある診断群分類のみを計算対象とし、診療報酬改定をまたぐ症例については、指数の算出が行えないため除外した。
- (4) 熊本地震に係る対応として、熊本県の DPC 対象病院における診療実績に基づく 7 指数 については、12 月 21 日の中央社会保険医療協議会での合意に基づき、以下の 2 種類の期間について指数を算出し、当該施設にとって有利な値を用いて係数を設定した。
 - ・平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月(通常と同様、震災後を含む)
 - ・平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月(震災前 6 か月)

効率性指数、複雑性指数、カバー率指数、救急医療指数、地域医療指数、後発医薬品指数、重症度指数

< 機能評価係数 の分布範囲等 >

係数		最小値	～	最大値	25%tile 値	中央値	75%tile 値
効率性		0.00000	～	0.01602	0.00545	0.00750	0.00933
救急医療		0.00000	～	0.02809	0.00445	0.00731	0.01060
後発医薬品		0.00000	～	0.00949	0.00949	0.00949	0.00949
保険診療	群	0.00729	～	0.00848	0.00809	0.00809	0.00809
	群	0.00795	～	0.00834	0.00795	0.00795	0.00824
	群	0.00729	～	0.00806	0.00806	0.00806	0.00806
複雑性	群	0.00000	～	0.01550	0.00502	0.00798	0.00987
	群	0.00000	～	0.01571	0.00617	0.00793	0.00991
	群	0.00000	～	0.01515	0.00647	0.00827	0.01047
重症度	群	0.00000	～	0.01625	0.00370	0.00804	0.01162
	群	0.00000	～	0.01727	0.00304	0.00719	0.01129
	群	0.00000	～	0.01484	0.00349	0.00724	0.01098
カバー率	群	0.00375	～	0.01110	0.00613	0.00767	0.00904
	群	0.00265	～	0.01404	0.00656	0.00768	0.00871
	群	0.00296	～	0.02037	0.00296	0.00466	0.00799
地域医療	群	0.00337	～	0.01666	0.00546	0.00777	0.01030
	群	0.00098	～	0.03285	0.00482	0.00677	0.00960
	群	0.00002	～	0.02561	0.00305	0.00471	0.00791
合計値	群	0.0401	～	0.0832	0.0532	0.0582	0.0636
	群	0.0453	～	0.0997	0.0621	0.0668	0.0730
	群	0.0242	～	0.1032	0.0497	0.0589	0.0675